文部科学大臣認定「職業実践力育成プログラム (BP)」

事業構想プロジェクト研究
募集要項

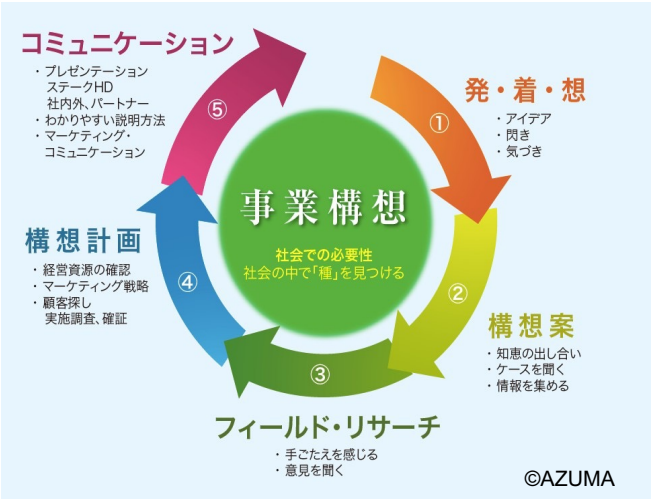
２０２２年５月開講

学校法人 先端教育機構
事業構想大学院大学 事業構想研究所

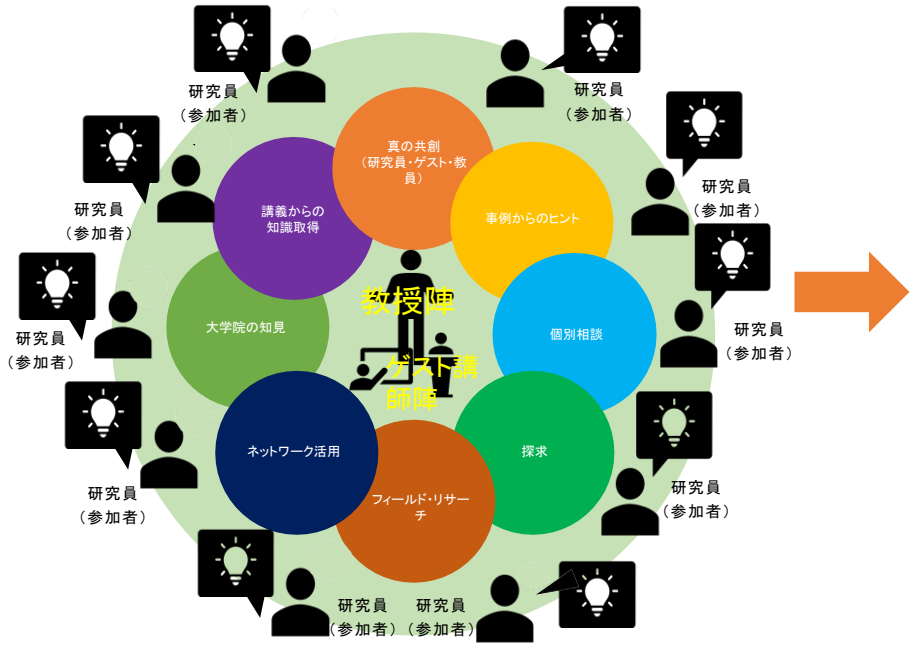
事業構想プロジェクト研究

ケーススタディだけでは未来はつくれない。

プロジェクト研究は、理想となる事業構想を構築し実現可能な構想計画にまとめ、社会に広めていくところまでを対象にしています。
いくら過去の事例を分析しても未来をつくることはできません。社会変化を洞察し、未来の知見を獲得しながら、人の心を捉え人を動かし、社会をも動かしていく事業を構想し構築していきます。
現在あるいは未来の社会の中からのニーズや課題の発見、社会構造、社会システム、価値観、常識の変化を先取し、事業の種を探し、さらに踏み込んで事業の仮説を考えビジネスモデルを策定。顧客中心の検証を経て、構想計画をまとめていきます。
１年間のプロジェクト研究を通じ、気づける素養を磨き、ワクワクする事業を構想していくことで、事業を推進する際の突破力にもつながっていきます。



プロジェクト研究の全体像



新規事業の
構想計画

新規事業の推進が
できる人材育成

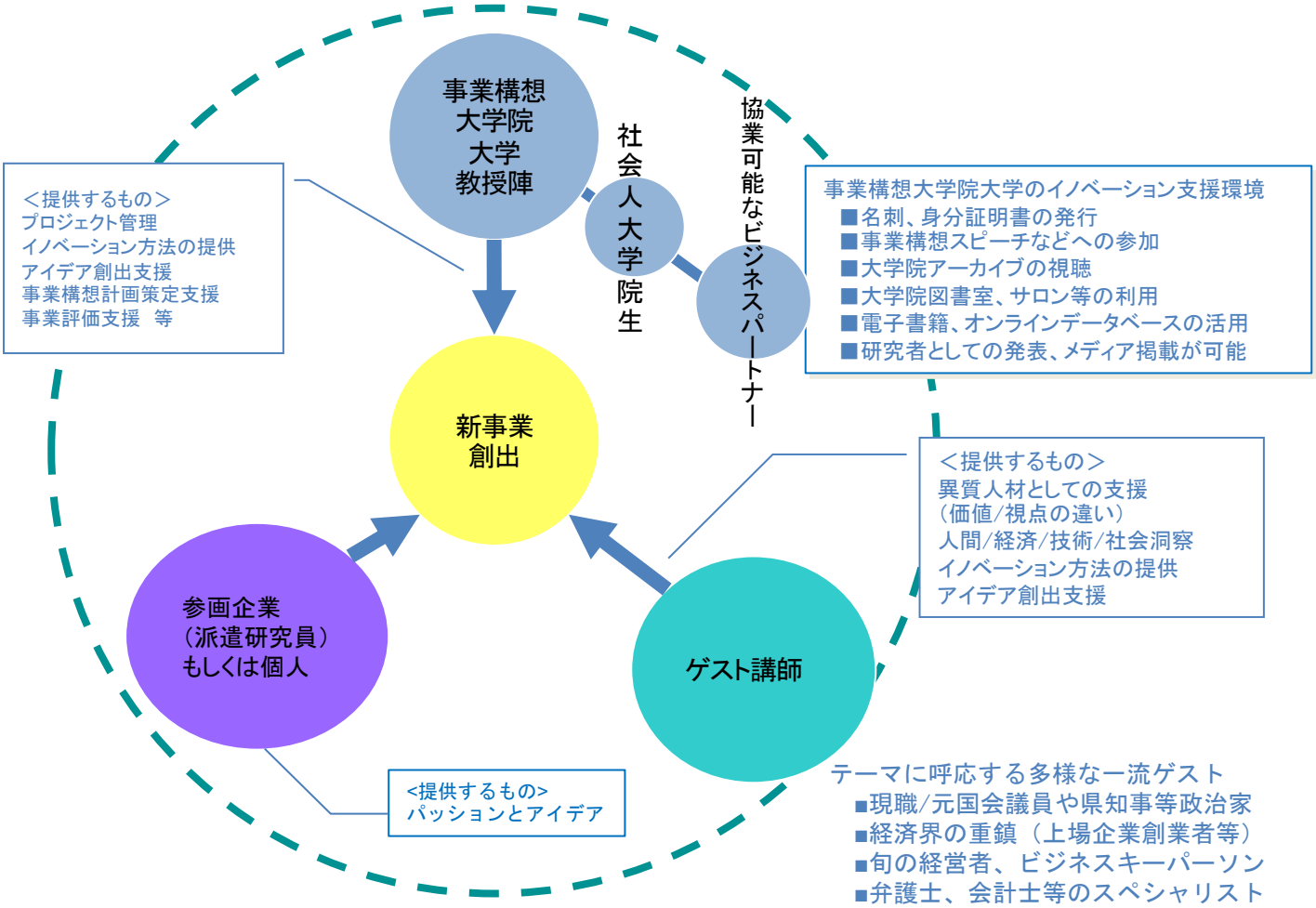
チャレンジする
組織づくり

〇事業構想大学院の事業構想修士課程のカリキュラムのエッセンスを活かし、テーマに基づき、研究参加者の新たな事業構想と構想計画構築を行う１年間の研究会です。
〇 １研究会は、原則１０～１５人の研究員で構成し、１人の担当教授が1年間を通じてコーディネートとファシリテーションを行いながら、研究員の知見を高めながら推進していきます。
〇定例のプロジェクト研究は、月２回、１回４時間、１年間で２４回開催。そこでは多彩なゲスト講師を招きながら、研究員の視野を広め視点を磨きながら、研究員各自の事業構想を構築していくものです。
〇研究員は非常勤（雇用関係なし）で、日常の仕事に就きながら、研究会に参加します。大学院附属研究所の研究員の資格が付与され、大学院の知やネットワーク、施設を活用することができるものです。

［１］プロジェクト概要

- 参画企業の新規事業開発を追求するプロジェクトです。
- 研究員となる企業側参画者、教員、有識者、ゲスト講師などからなるコミュニティーを前提とします。
- １年を通したカリキュラムによって、様々なテーマのイノベーションを検討し、最終的なコミットメントとして、イノベーションプランとなる「事業構想案」をアウトプットします。

三位一体のイノベーションコミュニティ



［２］構想計画書

大学院カリキュラムを活かした構成で、

定例のプロジェクト研究を中心に指導を受けながら、各研究員ごとに事業構想計画を策定します。

事業構想案の作成
各研究員が、１点以上策定し、計画書のテーマは問わない。構想計画には下記の項目が入っていることを推奨する。

1. 基本構想
概要、社会的背景、自社の新たな知財、基本的な事業構造

2. プロダクト開発構想
コンセプト／市場性／価格戦略／製造・仕入れ構想／ブランド戦略／差異化／ フィールドリサーチ（顧客インサイト分析）

3. 営業、販売構想計画
販売構想（チャネル・販促）／普及・維持構想／フィールドリサーチ

4. 事業組織構想
組織・人事構想

5. 資金構想計画
概算資金計画

6. マーケティング・コミュニケーション戦略
プロモーション戦略／広告・広報戦略／コミュニケーション戦略

7. 想定される障害と対策

8. スケジュール

［３］担当教員（予定）

岸波 宗洋（Munehiro Kishinami）
事業構想大学院大学 教授
新規事業、事業戦略

青山学院大学経営学部助手、青山学院大学総合研究所研究員、青学コンサルティンググループ専務取締役、コモンズコンサルティングパートナーズ取締役社長等を歴任。スタンフォード大学との遠隔ビジネス教育における国際共同研究、ナショナルクライアントの戦略コンサルティング、業務提携等に携わる。

中島 好美（Yoshimi Nakajima）
事業構想大学院大学　客員教授
積水ハウス(株)、イオンフィナンシャルサービス(株)、
JR貨物　社外取締役

早稲田大学 法学部卒。安田信託銀行（現みずほ信託銀行）、シティバンク、ソシエテジェネラル証券での要職を経て、2002年アメリカン・エキスプレス・インターナショナル,Incに入社。トラベラーズチェック部門副社長、個人事業部門マーケティング担当副社長、2011年にシンガポールのカントリー・マネージャー（社長）を歴任。

※教員は開講時期・開講数に応じて、追加、変更になる可能性があります。

［４］カリキュラム構成

事業構想の流れ	テーマ	目　　的	プロジェクト研究プログラム
環境設定	動機づけ	使命感の醸成	研究員資格付与
		マインドセット	オリエンテーション/事業構想の基本
		意欲向上	ゲスト講師による事例研究
	発想転換	内発的動機・関心づけ	課題と討議
		既存の枠からの脱却	イノベーション思考・アプローチ
			社会の一翼を担ってこそ事業は持続する
			共感力強化
	意識付け	創造的環境づくり	懇親会
			チームビルディング
発・着・想	基礎素養	事業開発の基礎	事例研究と討議
			世の中の仕組みを知る
			「事業構想事例研究」参加
			ゲスト講師アーカイブ視聴
	多角的視点	社会変革への多角的視点の養成	社会変革と事業構想講義
			メガトレンド/PEST分析とシナリオ
			ゲスト講師による事例研究
	事業アイデア	社会課題からの着想	SDGsの理解と発想
		想像力の強化	バックキャスティング
			人を起点としたアプローチ
			クリエイティブ発想
			五感活用トレーニング
		新たなテクノロジーの活用	シンセシス・新たな組み合わせ
		気づきの習慣づけ	課題によるトレーニング
			アイデアの事業化訓練
			研究会での討議や対話
		各種アイデア思考法の活用	さまざまなアイデア発想思考法
			アイデアソン/ブレーンストーミング
		アイデア量産	集中研究会（合宿）
構想案	ビジネスモデル策定	ビジネスモデルの理解	ビジネスモデルキャンバス
		マネタイズの検討	フェルミ推定
			定例研究会でのプレゼン
		オペレーションモデル	事例研究
	仮説設定 構想案構築	対象者のインサイト想定	ペルソナ設定とインサイト
		アイデアを膨らませる	研究会での討議
			他研究会との合同研究会
		グローバル視点の醸成	構想案に対する示唆
			ゲスト講師による事例研究
		テーマに基づいた深堀り	討議による示唆と自己探求
			ゲスト講師招聘またはネットワーク紹介
			情報収集指導
			オンラインデータベース活用
		社会的価値からの検証	討議と検証
			クリティカルシンキング
フィールド リサーチ	仮説リサーチ	顧客仮説の実証	リーンスタートアップ手法による指導
			仮説営業の実践
	構想案再検討	仮説の見直し	
		自社環境の確認	中間プレゼンテーション
構想計画	構想計画策定	経営資源の活用	経営資源の分節化
		市場開発	マーケティング知識
		顧客開拓	データドリブン・マーケティング
			営業開発手法研究
		収支計画立案	収支計画のたてかた（動画受講）
		組織体制	組織と人材
		ファイナンス	社内の説得法
	実現化	人脈づくり	人脈紹介/ゲスト招聘
			個別相談
コミュニ ケーション	プレゼンテーション	ストーリーテーリング	研究会のプレゼンと討議
		プレゼンテーション技術	プレゼン演習
		資金獲得	個別相談
	マーケティング コミュニケーション	発信力・共感醸成	コミュニケーション戦略立案
			クリエイターの発想
事業化に 向けて	構想計画 プレゼンテーション	予算獲得と事業推進	構想案または構想計画書作成
			最終プレゼンテーション

※内容は、研究員構成、研究会の進捗、担当教員により変更となります。

［５］募集概要

期間
プロジェクト研究　１回４時間、全２４回（合計９６時間）
事業構想スピーチ　１回２時間、全１２回（合計２４時間）
実施期間：２０２２年５月～２０２３年３月
原則隔週月曜日もしくは火曜日

定員　１０名

会場
事業構想大学院大学　東京校(青山・表参道)

対象
1. 新規事業に取り組む経営幹部、担当者（及び将来携わりたいと希望する者）
2. 事業承継者（及び事業承継予定者）
3. 地域活性化を志す者
4. ベンチャーを興したいと考える者

構成員
教員、研究員(参加者)、ゲスト講師

申込期限
締め切り　1次：２０２２年１月３１日

※定員に達し次第締め切ります。
※２次締め切り以降は、お問合せください。

申込書類
研究申込書、個人調書、研究志望書※
※形式自由。A４版１枚程度で、本研究会で取り組みたい内容を記載してださい。
例：目的、背景、取り組みたいテーマ、想定する研究成果　等

申込方法
申し込み書類一式を本学宛に郵送、もしくは担当にデータ送付

研究参加費
１２０万円（非課税）　※全額前納（開始前月２０日までの納入になります）

［6］日程表

回	日時	時間	時間数	分類	テーマ
1	2022/5/17(火)	13:00-17:00	4	アイデアの量産と習慣づけ	事業構想とは
2	2022/5/30(月)	13:00-17:00	4		Why/動機づけ
3	2022/6/7(火)	13:00-17:00	4		事業構想とマーケティング
4	2022/6/13(月)	13:00-17:00	4		アイデア発想法
5	2022/7/4(月)	13:00-17:00	4		社会動向と事業構想
6	2022/7/12(火)	13:00-17:00	4		事業構想とクリエイティブ発想法
7	2022/8/1(月)	13:00-17:00	4		アイデアプレゼンテーション
8	2022/8/23(火)	13:00-17:00	4	構想案構築	テクノロジーと事業構想
9	2022/9/13(火)	13:00-17:00	4		マーケティング戦略
10	2022/9/26(月)	13:00-17:00	4		フィールド・リサーチ
11	2022/10/11(火)	13:00-17:00	4		事業構想における戦略ストーリー
12	2022/10/17(月)	13:00-17:00	4		ビジネスモデル研究
13	2022/11/1(火)	13:00-17:00	4		中間プレゼンテーション
14	2022/11/15(火)	13:00-17:00	4	フィールド・リサーチ/構想案再構築	構想案の見直し/経営資源
15	2022/11/29(火)	13:00-17:00	4		事業構想計画の立案
16	2022/12/6(火)	13:00-17:00	4		ファイナンスの基本と収支計画の考え方
17	2022/12/13(火)	13:00-17:00	4		取引先、協同先検証/組織体制
18	2023/1/17(月)	13:00-17:00	4		構想案発表と見直し
19	2023/1/24(火)	13:00-17:00	4	構想計画策定とストーリーテーリング	事業構想計画立案
20	2023/2/7(火)	13:00-17:00	4		事業構想計画立案
21	2023/2/14(火)	13:00-17:00	4		事業構想計画立案
22	2023/2/28(火)	13:00-17:00	4		事業構想計画立案
23	2023/3/7(火)	13:00-17:00	4		事業構想計画立案
24	2023/3/28(火)	13:00-17:00	4		最終プレゼンテーション
25	2022/5/23(月)	15:00-17:00	2	事業構想スピーチ	事業構想事例研究
26	2022/6/20(月)	15:00-17:00	2		事業構想事例研究
27	2022/7/25(月)	15:00-17:00	2		事業構想事例研究
28	2022/8/22(月)	15:00-17:00	2		事業構想事例研究
29	2022/9/12(月)	15:00-17:00	2		事業構想事例研究
30	2022/10/24(月)	15:00-17:00	2		事業構想事例研究
31	2022/11/21(月)	15:00-17:00	2		事業構想事例研究
32	2022/12/19(月)	15:00-17:00	2		事業構想事例研究
33	2023/1/23(月)	15:00-17:00	2		事業構想事例研究
34	2023/1/30(月)	15:00-17:00	2		事業構想事例研究
35	2023/2/20(月)	15:00-17:00	2		事業構想事例研究
36	2023/3/13(月)	15:00-17:00	2		事業構想事例研究

総計時間　120　時間

※受講生の状況・進捗に応じて、内容、日程・時間帯等は変更の可能性あり。
※出席率は70%以上とし、欠席した場合は、ビデオによる補習および教員の指示による課題等を提出する。

[7] 事業構想大学院大学事業構想研究所の研究員

下記の通り、事業構想研究所の研究員の立場が付与されます。

◎研究員証

※画像はイメージです

◎名刺

※画像はイメージです

◎個別相談

◎事業構想スピーチへの参加(任意)

◎研究修了証

◎オンラインデータベース・アーカイブの活用

◎大学院環境(図書館・サロン)の活用

- 履歴書に研究員の経歴が記載できます。また、プロジェクト終了後には、研究報告書作成など規定要件を満たせば研究修了証が授与されます。
- 名刺、身分証の発行・貸与
- 本学主催の「事業構想スピーチ」への参加（年間約40回）
- 図書室やサロンなどの施設の利用
- オンラインデータベースの利用
- アーカイブ視聴
- 希望により学会発表、メディア掲載申請が可能
- 担当教授に随時相談可能

［８］事業構想スピーチ(任意参加)

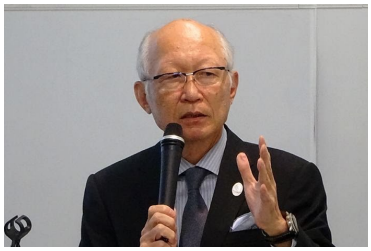
- １回２時間の事業構想スピーチを実施。
- 各界を代表するキーパーソン、本学の修了生から、最先端ビジネスモデル・事業モデルを学び「発・着・想」を得て、事業構想構築に活かす。

革新経営者	創業経営者	新規事業責任者
ネットビジネスリーダー	都市計画・建築家	最先端分野研究者
最先端企業経営者	地域活性 実践者	社会起業家
クリエイター	自治体	中央官庁
プランナー	ジャーナリスト	

など 著名人・キーパーソン

登壇者例

Twitter Japan
笹本裕社長



阪急阪神ホールディングス
角和夫会長

クレディセゾン
林野宏 社長

タニタ・谷田千里社長

メニコン　田中英成社長

JR九州
会長・唐池特別招聘教授

個人情報の取り扱いについて

本大学院が出願書類を通じて取得する個人情報は、①研究員選考、②合格者発表
③参加手続き、④選考方法等における調査・研究、⑤本大学院からのお知らせ
⑥これらに付随する業務を行うために、事務局、担当教授が利用します。

主催　学校法人先端教育機構
事業構想大学院大学　事業構想研究所
〒107-8550　東京都港区南青山3-13-18
TEL: 03-3478-8401（代）　FAX: 03-3478-8410
Mail: pjlab@mpd.ac.jp